

軍拡より生活 《 子どもたちの未来に平和を 》

不戦を誓う日の集会開催



講師の「杉浦ひとみ弁護士」

12月2日(土)10時から、鹿児島県労働者福祉会館7階ホールにおいて、鹿児島ブロック護憲平和フォーラム主催、アイ女性会議鹿児島県本部・鹿児島地区高退協・日置地区高退協の共催で、『不戦を誓う日の集会』を開催しました。

ときあたかも、屋久島沖で米軍機オスプレイCV22が墜落事故死亡事故を起こし、危険な同型機の飛行が大きな問題になっている最中での開催となりました。改めて、戦争に反対の思いを強くしました。

自治労・鹿児島市職労の安楽和代さんの司会進行で開会。主催者代表の中村一則さんより、オスプレイ事故やウクライナ・パレスチナでの現状を受け、「タイムリーなテーマでの開催となったのではないかと。今こそ、平和フォーラムの出番とも言える。皆で考え、行動を」とのあいさつをうけ、東京在住の「杉浦ひとみ」弁護士から80分の講演をいただきました。

講師は『子どもたちの問題にかかわって来た経過と現状、あまりにもアメリカファーストな日本の政治の現状、ウクライナやパレスチナに見る軍備による抑止の効果が破綻している現状など触れながら、軍事強化がもたらす弊害をコスタリカの例を挙げ力説。自らが「平和を求め軍拡を許さない女たちの会」を皆で立ち上げ行動している』ことを報告いただきました。

講演のあとの質疑でも、「野党の分断と維新の伸長などへの危惧の声」「コスタリカと日本の地政学上の持つ違いと共通点は」「奄美では自衛隊歓迎の声が強い。オスプレイ事故後も奄美では飛行を続けている。」「マスコミが真実を伝えなくなれば国民は知る権利を失う」など、いづれも重要な課題での質疑にも丁寧に関心する立場で対応いただきました。

閉会のあいさつを、高教組の堀切博子さんが行い、講演会は終了しました。当日は72名の方に参加いただきました。ご参加いただいた皆さん。ありがとうございました。



主催者あいさつの「中村一則」代表